

生ごみを減らしましょう！

まずは生ごみを出さない工夫として、買い物に行く前に冷蔵庫や戸棚を確認し、無駄な買物をしないようにしましょう。食材は使い切るようにし、作りすぎず、残ってしまった料理もひと工夫してみましょう。

また、生ごみの臭いや重みの原因は水分です。一度水分を吸ってふやけた生ごみは水分が抜けないので、調理中から出来るだけ生ごみに水がかからないようにし、余分な水分を吸わせないようにしましょう。

生ごみの約80%が水分。水分対策をすることで、軽量化できますし、地区の集積場も衛生的に保たれます。

水気を含んだ生ごみは、必要以上に水切りをしましょう。

ごみ減量のカギは『生ごみ』の減量です。 生ごみの自家処理に挑戦してみましょう。

自家処理する方法はいろいろあります。各家庭の事情にあった自家処理方法を見つけましょう。

- ① 電気式・機械式生ごみ処理機を使う
- ② 段ボール式堆肥化基材や木枠式生ごみ処理器を使う
- ③ コンポスト容器やぼかし容器を使う など

白馬村では、生ごみ自家処理に取り組む村民の方に次のような補助制度を用意しています。



《生ごみ処理に関する補助制度》

名称	補助額	備考
家庭用電気式生ごみ処理機	購入価格の3分の2以内 (上限 40,000 円)	購入を希望される方は事前に住民課までご相談ください。
わくわくコンポスト (木枠コンポスト型生ごみ処理器) プラスチック製生ごみ堆肥化容器	購入価格の3分の2以内 (上限 15,000 円)	購入を希望される方は住民課までご相談ください。バイオZは住民課で販売しています。
生ごみ堆肥化基材「ぱっくん」 (段ボール式堆肥化基材)	1個につき382円 (1個 271 円で購入できます)	「Aコープ白馬店ハピア」で販売しています。(通常は1個 653 円で販売)



“わくわくコンポスト”

営業施設など大量に生ごみが発生する方に最適です。一般家庭数件が共同で実践されている事例もあります。毎日発生する生ごみを日々この木枠に入れ、「バイオZ」という専用の菌をふりかけ、その上にもみ殻(又はそば殻)をサンドイッチ状に積み重ねていき、1日で20~30%くらいの生ごみを処理することが可能です。わくわくコンポストは住民ボランティア団体の「白馬あーす隊」でも取り扱っています。

◎機密書類を回収します

白馬村では、焼却ごみの減量とリサイクルの促進を目的に、機密書類の無料回収を年1回行います。機密書類とは、事業所や家庭から排出される、経営上秘密を保つ必要がある文書や個人情報が含まれた書類のことを言います。宿台帳、保管期間の過ぎた会計帳簿などが当てはまります。回収した紙については、厳重に運搬・保管のうえ、製紙工場で溶解処理して製紙原料となります。日時等については、広報等でお知らせしますので、次の事項を守って搬入をお願いします。

- ① 紙以外の持ち込みはできません。
- ② 感熱紙、ファックス用紙、レシート、圧着ハガキ、写真、粘着シートなど特殊な紙の持ち込みはできません。
- ③ カーボン紙、ノーカーボン紙などは別の箱に分けて入れ、箱の上に明記して出してください。
- ④ ファイルの金具、プラスチック類、金属クリップ、綴り紐は、付いていても構いません。
- ⑤ ダンボール箱で10箱を超える搬入はご遠慮ください。
- ⑥ 必ず段ボール箱に入れてしっかり封をしてください。これを守らないと運搬中に書類が飛散しても村は責任を負いません。

◎不用食器のリサイクルにご協力ください

使わなくなった食器や壊れた食器などを原料にして新たな食器として再利用し、合わせて埋立ゴミの減量化を目的として不用食器の回収をします。回収した食器は、リサイクル食器を製造する陶磁器生産者において細かく破砕したあと、陶土(食器をつくる粘土)に混ぜることにより、もう一度新しい食器や、工業用資材に生まれ変わっていきます。国内の陶磁器用の粘土は、近年ほとんどを輸入に頼っている状況や、増え続ける埋立ごみの状況をうけ、食器リサイクルの取り組みは全国各地で始まっています。

主催は「白馬村食器リサイクルをすすめる会」で、年1回9~10月中の日曜日に開催しています。詳しい日時等は新聞チラシ・広報等でお知らせしますので、村民の皆様のご協力をお願いします。

◎小・中学校等の団体資源回収にご協力ください

村内の小中学校や各種団体では、アルミ缶、ビールびん、一升びん、紙パックなどの資源回収をそれぞれ行っています。収益は、学校の子どもたちや各種団体の活動に活かされ、この活動を通してリサイクルの学習にもなっていますので、皆様のご協力をお願いいたします。詳しい日時等は新聞チラシ・広報等でお知らせします。